



2025年6月18日

各位

会社名 株式会社 plus zero  
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 小代義行  
(コード番号: 5132 東証グロース)  
問合せ先 取締役 CFO 浅川耀佑  
(TEL. 03-6407-0212)

### 2025年10月期第2四半期決算に関するQ&A及びオンライン説明会動画公開のお知らせ

2025年6月11日に公表した当社の2025年10月期第2四半期決算に関しまして、公表以降に株主様、投資家様などの方々から頂戴したお問合せ、ご質問等に関しまして、その内容と回答を下記のとおりお知らせいたします。

なお、本開示は、市場参加者の皆様のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものであります。決算内容の詳細につきましては、末尾<ご参考>に記載しております決算短信及び決算説明資料をご覧ください。

記

#### 2025年10月期第2四半期決算説明会動画

発表者	視聴 URL
代表取締役会長兼 CEO 小代義行	<a href="https://youtu.be/v0eA2SiVujw">https://youtu.be/v0eA2SiVujw</a>

Q1. 中期的に業績への貢献が見込まれるプロジェクトについて、AI オペレーターに続いてご期待されているものをお教えいただけますでしょうか。

回答

AI オペレーターに次ぐ注力プロジェクトとして、未発表案件、AEIDesk、製造業向けの取り組みなどがあり、今後の進捗を見ながら優先順位を柔軟に調整してまいります。

Q2. AEI のカスタマイズにあたって、業種ごとに難易度や開発期間に大きな差が生じる可能性があるかについて、ご見解をお聞かせください。

回答

AEI のカスタマイズについては、業種ごとに会話の種類や要件が異なるため、難易度や開発期間に差が出る場合がございます。

Q3. 一般消費者が AEI の有用性を実感できるタイミングについて、最短でいつ頃を想定されているか教えていただけますか。

回答

複数の企業と導入に向けた調整を進めており、すでに動き出している先行企業もあることから、近い将来、一般消費者の皆さまにも AEI の効用を実感いただける可能性がございます。

Q4. 人員の増加が続いているようですが、現在のオフィススペースでの対応状況や、事務所移転のご予定があるかについてご教示ください。

回答

人員は順調に増加しておりますが、現時点では事務所移転の計画はございません。

Q5. ローンチ発表会には何社が出席されたのか、また、可能であれば出席された企業名の公表についてもお伺いできますでしょうか。

回答

発表会には複数のメディア各社様にご出席いただきましたが、社名や社数などの詳細は現時点では公開する予定はございません。

Q6. 現在公表されている AI オペレーターの商談件数 43 件について、成立確度の高い案件数がどの程度含まれているのか、ご教示いただけますか。

回答

商談の確度は社内で段階的に管理しておりますが、現在公表している 43 件は、確度が極めて低い案件を除いたものであり、比較的成立確度の高い商談が中心となっております。

Q7. 「miraio」のデモ動画で紹介されたデジタルヒューマン「virddy」について、現時点での完成度や販売開始の見込み時期をお知らせいただけますか。

回答

デジタルヒューマン「virddy」は現在も開発を進めており、飲食店予約などのデモ機能やアバターとのリアルタイム対話機能を組み合わせ、引き続き完成度の向上を図ってまいります。完成や販売の時期については、確定次第ご案内いたします。

Q8. AI オペレーターの導入が決定してから実際に稼働するまでに必要とされる期間について、ご説明をお願いいたします。

回答

導入から稼働までの期間は、CTI や CRM など既存システムとの接続状況により異なりますが、環境が整っている場合は比較的短期間での導入が可能です。

Q9. 金融業界における AEI 導入の可能性について、どのようにお考えでしょうか。

回答

金融業界を含め、現在の商談は可能性の低い案件を除いたものとなっており、成立確度の高い案件が中心です。今後の導入可能性は高いと見込んでおります。

Q10. スタンダード市場やプライム市場への市場変更のご計画があれば、お聞かせいただけますか。

回答

現時点で市場変更の計画はございませんが、スタンダード市場やプライム市場の基準は常に意識し、必要な水準を把握しております。

Q11. 海外の機関投資家を意識された場合、中期的に目指されている時価総額の目標があれば教えてくださいいただけますでしょうか。

回答

中期的な時価総額については、プライム市場水準などを一つの参考としつつ、明確な目標数値の開示は現時点では控えております。

Q12. 昨今話題の AI エージェントについて、他社との差別化ポイントや国際特許に関する戦略についてご説明いただけますか。

回答

他社との差別化については、信頼性や対応可能な業務範囲の広さにより優位性を構築しております。国際特許戦略については、詳細な開示は控えさせていただきます。

Q13. 通期の業績見通しの見直しや、下半期における AI オペレーターの売上構成比の公表予定について、お考えをお聞かせください。

回答

通期見通しや下半期の AI オペレーター売上占有率については、現時点では発表を予定しておりません。

Q14. AI オペレーターの「人への繋ぎ」が課題とされていましたが、現在の解決状況は？

回答

技術的には既に「人への繋ぎ」は実装済みで、特段の課題はありません。顧客ごとの運用方針に応じて、AI と人間の適切な連携を設計・提供しています。

Q15. 現在進行中の未発表プロジェクトについて、可能な範囲で概要をご紹介いただけますか。

回答

現在、AI オペレーターに次ぐ新たなプロジェクトも進行しておりますが、未発表であるため詳細は差し控えさせていただきます。

Q16. 技術水準の高さにもかかわらず、日経新聞等の主要メディアであまり取り上げられていない理由について、どのようにお考えでしょうか。

回答

メディアへの情報発信は継続的に強化しております。今後、AI オペレーターの具体的な導入事例を開示する段階となれば、主要経済メディア等での報道も拡大していくものと期待しております。

Q17. AI オペレーター事業について、今期下半期の売上への貢献が見込まれるかどうかをお聞かせください。

回答

AI オペレーターは、売上高成長率や営業利益率に寄与する見込みであり、今下半期にも一定の成果として反映される見通しです。

Q18. 現状において、M&A に対する基本的なスタンスや今後の展望があれば教えてください。

回答

現時点で M&A に関する具体的な実施方針はございませんが、業務整理と展開順序の検討は進めております。

Q19. AI オペレーターへの期待値だけで御社に投資しています 待ちに待ったタイミングが訪れたと思っています。

回答

皆様のご期待を真摯に受け止め、事業の成功に向けて全力を尽くしてまいります。当社技術が日本の AI 産業の発展に貢献できるよう、早期の社会実装を目指します。

Q20. 海外企業との提携について、現時点で検討状況や方針があればお伺いしたく存じます。

回答

AI オペレーターや AI デスクは海外展開に向けたローカライズ・グローバルイズがしやすい設計となっており、海外企業との提携や展開も前向きに検討しています。

Q21. 株価が御社の想定よりも著しく低く評価されていると判断される場合、自社株買いなどの株主還元策を講じられるご予定はありますでしょうか。

回答

企業価値が株価に公正に反映される状態が望ましいと考えております。株価が著しく過小評価されていると判断される場合の具体的な対応（自社株買い等）につきましては、現時点でお約束できるものはありませんが、あらゆる選択肢を検討してまいります。

<ご参考>

- ・ 2025 年 10 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結） 2025 年 6 月 11 日公表
- ・ 2025 年 10 月期第 2 四半期 決算説明資料 2025 年 6 月 11 日公表

以 上

免責事項

本資料は、当社の企業説明、決算説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。  
本資料は、2025 年 6 月 11 日公表の 2025 年 10 月期第 2 四半期決算の内容に関して頂戴したご質問等などの内容に基づき、一部表現を修正して公表するものであります。  
本資料に記載される情報は、いわゆる見通し情報を含んでおり、当該情報は本資料公表時点における当社の見解であり、将来に関する記述につきましては、今後様々な要因により変動する可能性があることをご承知おきください。